

本堂建設上棟式

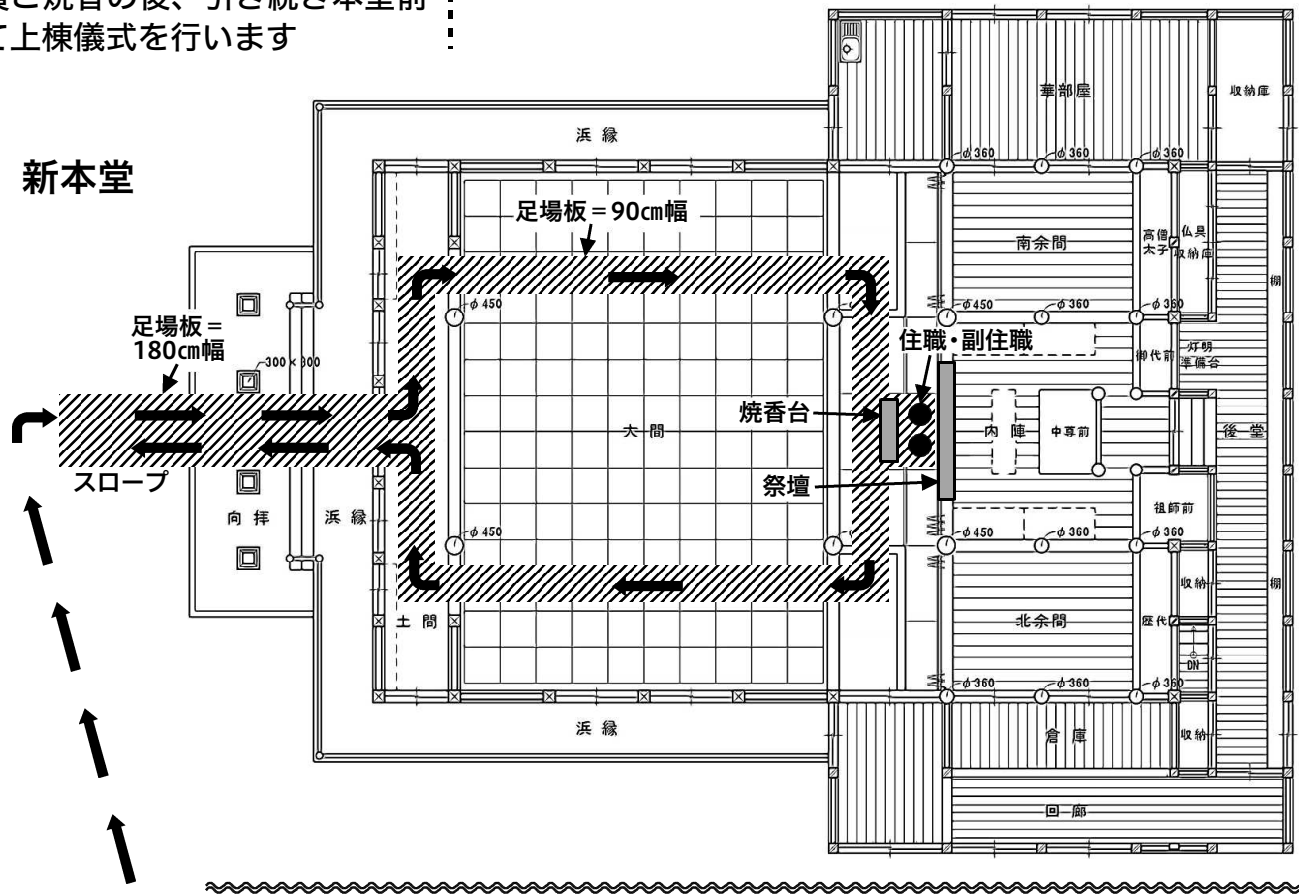
平成30(2018)年
2月6日(火) 10:00

《式次第》

- ① 開式の言葉
 - ② 一同合掌
 - ③ 祝餅奉納
 - ④ 読経・焼香
- 同朋会館
本堂内

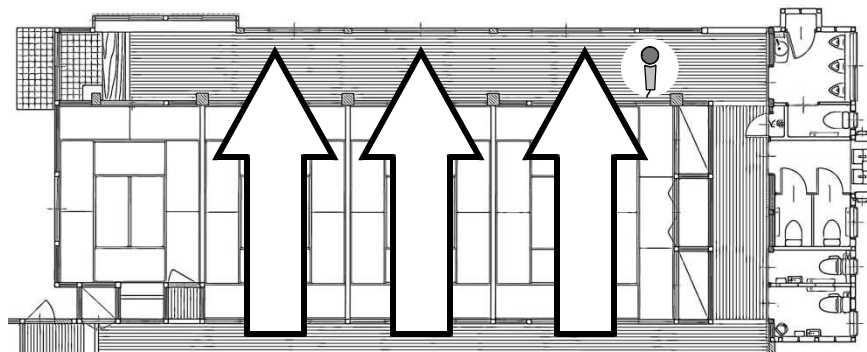
- ⑤ 上棟儀式ひきつな〈曳綱の儀・槌打の儀〉つちうち — 本堂前
 - ⑥ 棟札紹介
 - ⑦ 挨拶・祝辞
 - ⑧ 乾杯
 - ⑨ 一同合掌・おんとくさん恩徳讃齊唱
 - ⑩ 閉式の言葉
- 同朋会館

※焼香後は一旦外へ出て待機します
全員ご焼香の後、引き続き本堂前
にて上棟儀式を行います



同朋会館

※本堂に向かって
お座り下さい。
※出入りの時には
靴の履き間違い
にご注意下さい



※本日13:00~15:00、本堂内部を特別一般公開します
※魚津社寺工務店さんが常駐し、質問に答えてくれます

※同朋会館トイレが綺麗になり
ました。ぜひご利用下さい。
※寒い時節です。防寒対策には
特にお気をつけ願います。

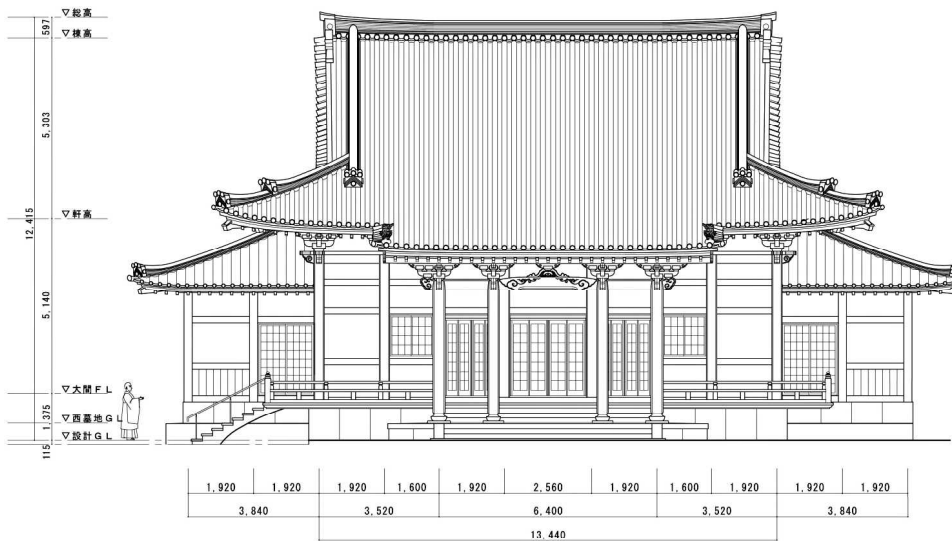


①五色幕 = 古代中国の五行思想より天地万物を表す。青(緑)色は樹木・春・東方・青龍、赤色は火・夏・南方・朱雀、黄色は土・季節の変わり目 = 土用・方位は中央・麒麟、白色は金・秋・西方・白虎、黒(紫)色は水・冬・北方・玄武 = 黒い亀をそれぞれ表す。



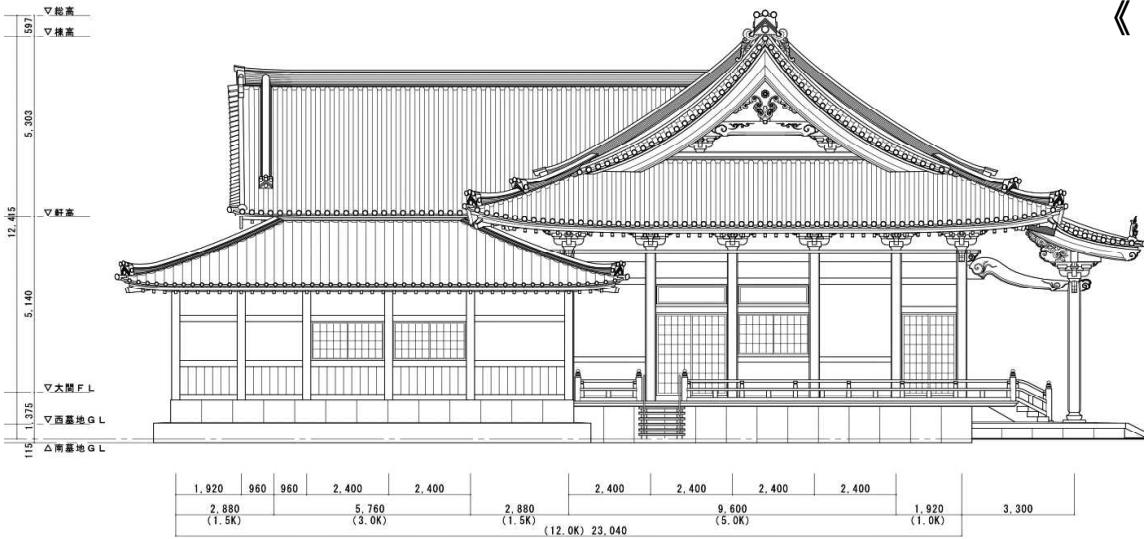
②雁股矢 = 鏃が二股に分かれた矢。長寿と夫婦円満の鶴が描かれている。
 ③ 鏃矢 = 射ると大音響を発して飛ぶ矢。長寿と知恵の亀が描かれている。
 ②と③ = 魔を破る破魔矢であり、天と地の両方に放たれる。支柱は破魔弓を表す。

④ 扇 = 末広がり長い繁栄を象徴する。⑤ 陰陽道 = 三五七などの奇数は陽の数。また割れないので壊れない、不滅を表す。支柱の本数もそこに描かれた線も、屋根に上がる大工の数も必ず奇数。



起工式
 平成二十八年二月八日
 泉流山本龍寺
 本堂建設事業
 平成三十年二月六日
 泉流山本龍寺 建設委員会
 委員長 菅野昭二
 委員 菅野昭二 菅野昭三 菅野昭四 菅野昭五 菅野昭六 菅野昭七 菅野昭八 菅野昭九 菅野昭十 菅野昭十一 菅野昭十二 菅野昭十三 菅野昭十四 菅野昭十五 菅野昭十六 菅野昭十七 菅野昭十八 菅野昭十九 菅野昭二十 菅野昭二十一 菅野昭二十二 菅野昭二十三 菅野昭二十四 菅野昭二十五 菅野昭二十六 菅野昭二十七 菅野昭二十八 菅野昭二十九 菅野昭三十 菅野昭三十一 菅野昭三十二 菅野昭三十三 菅野昭三十四 菅野昭三十五 菅野昭三十六 菅野昭三十七 菅野昭三十八 菅野昭三十九 菅野昭四十 菅野昭四十一 菅野昭四十二 菅野昭四十三 菅野昭四十四 菅野昭四十五 菅野昭四十六 菅野昭四十七 菅野昭四十八 菅野昭四十九 菅野昭五十 菅野昭五十一 菅野昭五十二 菅野昭五十三 菅野昭五十四 菅野昭五十五 菅野昭五十六 菅野昭五十七 菅野昭五十八 菅野昭五十九 菅野昭六十 菅野昭六十一 菅野昭六十二 菅野昭六十三 菅野昭六十四 菅野昭六十五 菅野昭六十六 菅野昭六十七 菅野昭六十八 菅野昭六十九 菅野昭七十 菅野昭七十一 菅野昭七十二 菅野昭七十三 菅野昭七十四 菅野昭七十五 菅野昭七十六 菅野昭七十七 菅野昭七十八 菅野昭七十九 菅野昭八十 菅野昭八十一 菅野昭八十二 菅野昭八十三 菅野昭八十四 菅野昭八十五 菅野昭八十六 菅野昭八十七 菅野昭八十八 菅野昭八十九 菅野昭九十 菅野昭九十一 菅野昭九十二 菅野昭九十三 菅野昭九十四 菅野昭九十五 菅野昭九十六 菅野昭九十七 菅野昭九十八 菅野昭九十九 菅野昭一百

法燈
 承安四年
 二七四年
 世のなか安穩なれ
 仏法ひろまれ
 釋祐忠



表面 《棟札》 裏面
 ※お寺の使命とは「親鸞聖人御消息」第25通の上記2行。原文は「世のなか安穩なれ 仏法ひろまれ」なのですが、法法的な価値観や生き方が広まらないかぎり世の中は安穩にならない、そのためにこの本堂が念仏道場であり続けたいと誓いを込めたことでした。住職